

## 不況と戦争の時代（1931～1945）その7

### 《1935～41年、3つの主要地方道に道路橋が完成》

世界不況に対抗して始まった多摩川上流改修と道路整備により、多摩川中上流部は、主要地方道に橋が架けられていきました。渡河するとき、渡しを利用していた時代から、ようやく自動車で往来できる時代となります。

主要地方道に架けられた最初の橋は、鶴川街道の多摩川原橋です。不況対策の時局匡救（じきょくきょうきゅう）事業の最終年である1935年（昭和10）に完成しました。鶴川街道は、東京府の町田市と調布市を結ぶ街道です。現在の橋は、2006年（平成19）に架けられられたものです。

2番目に、1937年（昭和12）、鎌倉街道に関戸橋が架けられます。鎌倉街道は、町田市と府中市を結ぶ街道です。隣接して、1970年（昭和55）に新関戸橋が架橋されています。

3番目に、1941年（昭和16）、府中街道に是政橋が架けられます。府中街道は、川崎駅と所沢市を結ぶ道路です。

これらの橋は、多摩川上流改修区間にあって、昔の多摩地域の交通路です。明治維新から約70年、多摩地域が神奈川県から東京府へ移管されてから約50年経って、多摩川の改修や多摩地域の主要地方道改良に近代の光が射したのです。ただし、世田道（津久井道）にかかる多摩水道橋は、戦後まで待たねばなりませんでした。

なお、多摩川上流改修区間より上流になりますが、1939年（昭和14）、秋川街道に調布橋が架けられています。秋川街道は、東京都の青梅市とあきるの市を結ぶ街道です。

この時代から約30年後の1966年（昭和41）、多摩ニュータウン事業が始まります。当時、多摩ニュータウンが建設されるとは、誰も予想だにできなかったことでしょう。

参考：戦前の多摩川近代橋梁の系譜（道路橋と鉄道橋の書き出し位置を変えています）

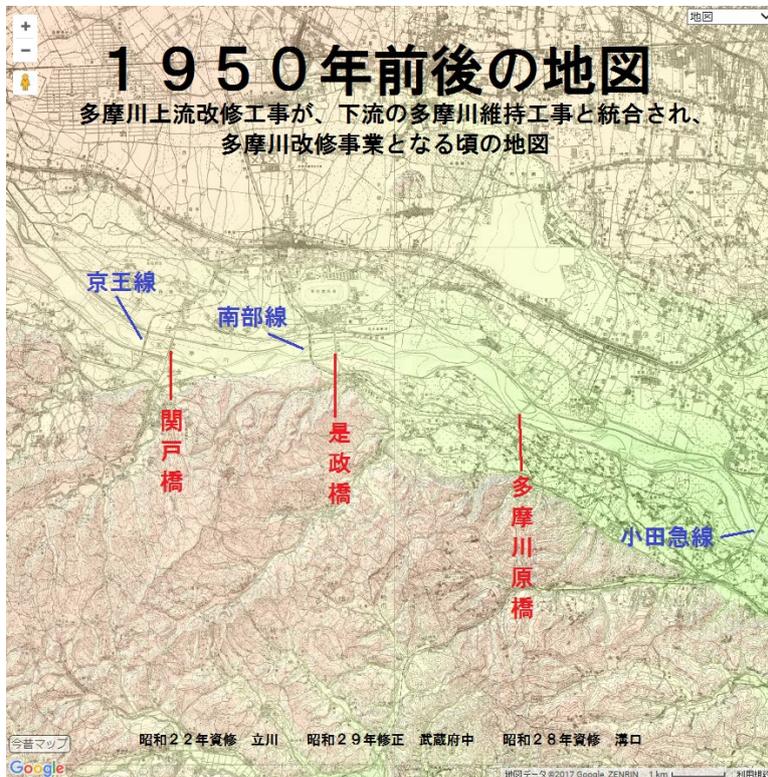
- 1897年（明治30） 東海道本線六郷川橋梁  
（先代は、木造トラス橋で1972年（明治5）に架橋）
- 1899年（明治42） 中央線日野橋
- 1921年（大正10） 日野橋（甲州街道）
- 1925年（昭和 元） 六郷橋（東海道）、二子橋（鉄道併用）
- 1925年（昭和 元） 五日市線鉄道橋
- 1925年（昭和 元） 南部線多摩川橋梁
- 1925年（昭和 元） 東急東横線二子橋
- 1927年（昭和 2） 小田急線鉄道橋
- 1928年（昭和 3） 横須賀線多摩川橋梁
- 1931年（昭和 6） 八高線多摩川橋梁
- 1931年（昭和 6） ガス橋（歩道のみ）
- 1935年（昭和10） 多摩川原橋（鶴川街道）
- 1937年（昭和12） 関戸橋（鎌倉街道）
- 1939年（昭和14） 調布橋（秋川街道）、大師橋
- 1941年（昭和16） 是政橋（府中街道）
- 1943年（昭和18） 万年橋  
（先代は、木造アーチ橋で1897年（明治30）に架橋）

写真は、①②三橋梁の位置図と多摩川上流改修前の地図（細見作成）、③多摩川原橋（川崎市側の橋上流から細見撮影）、④是政橋（府中市側の橋上流から細見撮影）、⑤関戸橋（府中市側の橋下流から細見撮影）

①



②



③



④



⑤

